

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポートこころ		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 15日		令和7年 3月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 20日		令和7年 3月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こころのシンボル！山登りクライミング 手・指・足をつかって、全身を支えながら壁を登っていくクライミングウォール。 大きな山々にチャレンジするぞ！というストーリーのもと、あそびを楽しめます。ポーネルド社プロデュースのクライミング設備を導入しています。	療育を日常生活の延長線上と考え、本人のペースに合わせながらできる力を育てます。	日常的なことに工夫を加えることで、できる力を育てていき興味関心を深めます。
2	支援室からトイレまで、分かりやすい動線です。 トイレトレーニングも取り組みやすいです。	トイレトレーニングも取り組みやすいです。	トイレの手洗いが自動で流れる為見守りが必要です。
3	定期的にCOCOカフェ（ママカフェ）を開催しています。 駐車場も広い為、安心して来所可能です。	COCOカフェ（ママカフェ）は誰でも参加できます。利用者の知人の参加もありました。親子ふれあいバス旅行ではきょうだいの参加の可能です。	子どもたち・親の皆さまに安心できる居場所でありたいと思います。今以上に支援スタッフの増員を検討中です。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	広いワンフロアの支援室の為、周りの音や声に影響されやすいです。	発語が少ない児童の利用が多い為、大きな声やゼスチャーで要求を伝えることがあります。	パーティションで空間を区切ったり、小グループに分けて外出を取り入れ、誰でも快適に過ごすことができるように定期的に見直しが必要です。
2	地域の児童館や公園の利用はありますが、地域の方々との交流がありません。	多動児の利用が多い為、小集団での活動になりがちです。	地域の児童館や公園遊びを通して、キッズサポートこころを知ってほしいと思います。
3			